

今月の1冊から 2017年10月～12月

10月『パパ、お月さまとって！』

エリック＝カール//さく もり ひさし//やく 偕成社



あるばん、モニカはお月（つき）さまがとてもちかくにみえたので、お月さまとあそびたくなりました。お月さまのほうへてをのぼしても、お月さまにはとどきません。モニカはパパにいいました。「パパ、お月さまとって！」そこで、パパはながーいながーいはしごをもってきて、たかーいたかいやまのてっぺんにたてて、お月さまへのぼっていきました。しかし、お月さまはもちかえるにはおおきすぎます。そこでパパは、お月さまはすこしずつちいさくなるので、ちょうどよいおおきさになったらもちかえることにしました。そして、お月さまはだんだんちいさくなっていき、モニカはパパのもちかえったお月さまとあそぶことができました。でも、お月さまはどんどんちいさくなりつづけ…。

この絵本（えほん）は、上下（じょうげ）・左右（さゆう）にページがおおきくひらく絵本になっています。お月さまがとてもおおきくみえるので、きっとみなさんもお月さまとあそびたくなりますよ！

11月『カラスのはてな？』

唐沢 孝一//作 谷内 庸生//絵 福音館書店



カラスときいたら、どんなことをおもいうかべますか？くろい！ かわいい？ こわい・・・？ とてもかしこいとりだといわれていますが、にんげんにはきらわれてしまうことがおおいかもしれませんね。そんなカラスですが、くちにものをくわえてとんでいるところをみたことありますか？ なんでハンガーやえだ、たべものをくわえているカラスにきいてみましょう。でんしんばしらにぶらさがったり、やねにいるところはみたことありますよね。なにをしているのかカラスにきいてみましょう。本をよんで、ちょっとでもカラスをすきになってくれるひとがいたらうれしいです。おはなしのあとに、くわしいかいせつもあるからよんでみてくださいね！

12月『こまったクリスマス』

バーナデット・ワッツ//絵 ラッセル・ジョンソン//文 もき かずこ//訳 西村書店



クリスマスイブ、サンタクロースがプレゼントをそりにのせ、トナカイたちをよんでみますがへんじがありません。トナカイたちは、クリスマスイブにしごとをするのがいやになって、でかけてしまったのです。こまったサンタクロースに「ぼくが！」とソリをひくしごとをてつだおうといってくれたのはネズミでした。しかし、ネズミではちいさすぎます。そこで、しごとをてつだってもらえるよう、ほかのどうぶつをたずねあるきます。ネズミのほかにてつだおうといってくれたのは、ウサギ・ロバ・ライオン・ラクダ・ゾウ・リュウでした。なんとかしゅっぱつしたサンタクロースたちでしたが、たびはなかなかかんたんではありません。いえのヤネのワラをたべてしまうロバや、ジャングルでワナにかかってしまうライオン・・・サンタクロースはぶじに、プレゼントをとどけることができるのでしょうか。そして、トナカイたちはどうなったのでしょうか。